

# 事例6：作業員が、水道管とバックホウバケットの間に手を挟まれた

バックホウでの作業中、掘削内に避難していた作業員がぬかるみに足をとられ管口を掴んだところ、バックホウのバケットとの間に手を挟まれた。

## 原因

- 建設機械誘導員、オペレーター、作業員の安全確認の連携がとれていない。
- 作業員の避難場所が狭かった。
- 作業床が安定しなかった。

## 結果

- 右手人差し指、中指及び薬指を骨折

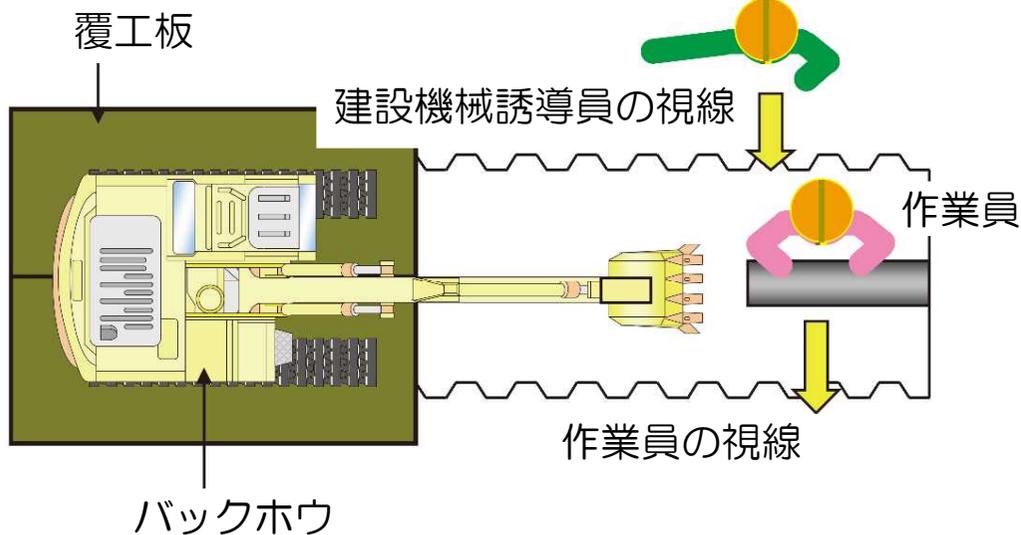
## 行動

- 作業員は、建設機械誘導員が掘削OKの合図を送った後に、管に手をかけた。

## 教訓

- ① 建設機械誘導員は合図時に作業員の位置を必ず確認する。
- ② 掘削内の避難場所は1.5m以上確保する。確保できない場合は地上に退避する。
- ③ 足元がぬかるむ場所では、再生砂をまき、足場を確保する。

建設機械誘導員



建設機械誘導員からは、作業員の手元がみづらい。

作業員からは、建設機械誘導員の合図が見づらい。

